

平成28年 第7回（定例会）

## 厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成28年4月26日（火）午後1時31分

2 閉会

平成28年4月26日（火）午後2時15分

3 出席委員の氏名

佐藤 泰夫 伴 俊行 森本 早苗 長門 茂明 兵頭 利彦

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 沼田 和男

【書記】学校教育G主幹 木戸 達也

5 会議録署名委員の指名

（ 伴 俊行 ）

（ 長門 茂明 ）

6 教育長報告

（1）行事参加等の動向

（資料1）

【質疑】

佐藤委員長：行事参加等の動向について教育長から説明がありました。何かあればお願いします。

佐藤委員長：4月15、16日に厚真中央小と2中学校でPTAへのコミュニティスクールと海外修学旅行についての説明を行ったようだが、上厚真小での開催の予定は。

兵頭教育長：上厚真小は5月の連休明けに実施する予定である。海外への修学旅行の件については、現在、旅行会社を選定し、1学期末のPTA全体懇談会に向けて説明会を実施したい案を持っている。今まで出されていた治安や健康面、コースなどへの意見については学校などとも調整を図りながら、研修内容をより具体化できるように説明していきたい。年内に実施の有無について決定する予定であったが、アンケートの結果もありますし、説明会の状況によっては、2学期の始まったころに（2回目の）アンケート調査をし、保護者の意向を確認し判断できるのではないかと考えている。海外に行く、行かないについては早目に判断した方がよいと思っている。仮に、修学旅行として実施できなかった場合にどうするのかということや、次の手立てを考えていかなければならないと思っ

ている。

## 7 所管報告

### 学校教育グループ

- (1) 各学校の教職員・児童生徒数について (資料2)
- (2) 修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について (資料3)
- (3) 英語授業研修会（4月18日開催）について (資料4)
- (4) 英語教育推進委員会小中連携部会（4月25日開催）について

#### 【質疑】

佐藤委員長：学校教育グループから4点の説明がありました。何かお訊きになりたいことがあればお願いします。

佐藤委員長：英語授業研修会の教員の参加状況は。

兵頭教育長：小学校における英語の授業をテーマとしていたので、小学校の先生のはほぼ全員が参加した。小学校のカリキュラム（教育課程）を統一したり、授業に見合った研修会などは行っていたが、先生同士間で意見交換をする場がなかったので、今回は指導の統一を含めて、実際指導している中での成果と課題を共有しながら、今後の改善に結びつけていく内容であった。また、今年の9月2日に英語教育研究大会のプレ大会が本町で開催されるので、それに繋げるためにも、また、多少異動があり先生も替っているので、そのような意味でも開催した。

### 社会教育グループ

- (1) パークゴルフ場オープン／4月15日（金）／新町民広場、上厚真パークゴルフ場  
※本郷いこいの森パークゴルフ場は5月1日（日）オープン予定
- (2) 特別講演会 文化財とまちづくり／4月23日（土）／総合福祉センター

#### 【質疑なし】

## 8 議案

議案第1号 厚真町立中学校生徒資格取得支援（学びチャレンジ支援）補助金交付要綱の制定について

#### 【質疑】

佐藤委員長：ただいま、厚真町立中学校生徒資格取得支援（学びチャレンジ支援）補助金交付要綱の制定について説明がありました。質疑をお受けいたします。

伴職務代理：第4条の2項で「教育施策上教育長が必要と認めた資格を取得するための検定料については、全額を補助金として交付する」というところで、これは本町は英語教育を推進しており、英語検定を限定としているのか。もしくは、他の施策が展開された場合は、

英語検定以外の検定も対象となるものなのか。

兵頭教育長：現教育振興基本計画の指標になっているのは、英語検定3級以上が具体的になっているので、現在は英語検定だけとなっている。施策を展開する中で他の検定の必要性があった場合は、個別に熟考していきたい。強制はできないが、(中学校3年生は)全員受検してもらおうと思っているので検定料の全額を助成する。

伴職務代理：いいことだと思う。現在の状況はわかるが、教育施策と考えると、英語だけが教育施策ではないのだから、例えば、学校から学校目標に沿った取り組み要望があった場合は、全額補助してもよいのではないかと思う。英語検定だけの文言だと融通性がなくなるが、教育施策上という言葉は非常に広く開かれているような感じだ。各学校から教育上どうしても必要なものであれば全額を助成する広がりをもってもらえるとよいと思う。

兵頭教育長：この要綱は中学生が対象となっているが、状況をみながら小学生まで範囲を広げることができればと思っている。低学年のうちからそのような意識を持ったほうが学びに繋がっていく。

佐藤委員長：検定料はどの程度のものなのか。

木戸主幹：級が上になるに従い検定料は高くなるし、資格の種類によってもそれぞれ違う。

英語検定だと、5級で2000円、4級で2100円、3級で2800円、準2級で4100円、2級で5400円、準1級で6900円、1級で8400円となる。

伴職務代理：英検3級は中学校卒業程度のレベルと言われているが、そんなに簡単なものではない。

兵頭教育長：2月に英語能力判定テストを中学生が取り組んだ。既に3級レベルに達している生徒もいる。英語検定の指標としては1年生で5級、2年生で4級、3年生で3級という見方をしている。現2・3年生の7～8割近くはその指標をクリアしている。おそらく3年生が3級を受けると指標の50%以上とそれほど困難な目標ではないと感じている。英語能力判定テストと英語検定は違うので、実際受けてみないとわからないが。

伴職務代理：4級と5級は割と簡単であるが、3級になるとレベル的にも違ってくる。

長門委員：補助対象資格が6資格あるが、今までどれほどの生徒が取り組んでいるのか。

兵頭教育長：英語検定は受けている生徒はいるようだが、自主的に受けており教育委員会で数値は把握していない。

伴職務代理：漢字検定は学校で取り組むところもある。

長門委員：漢字検定はうちの子どもの通学していた小学校では取り組んでいた。

伴職務代理：子どもの中には歴史の好きな子どももおり、歴史検定もある。

兵頭教育長：検定の種類は多様。そのような意味からいくと小学校から取り組んでいったほうが学びに繋がりがやすい。

長門委員：得手不得手の科目があり、例えば数学が飛びぬけて得意な子どもにとっては検定の取得は自信に繋がり、他の検定も受けてみようかという意欲にもなる。

兵頭教育長：これらの資格は、進学する際の履歴の功績にもなるので、頑張りに繋がるのではないかと思います。

佐藤委員長：ほかにご意見がなければ、厚真町立中学校生徒資格取得支援（学びチャレンジ支援）補助金交付要綱の制定について決定してもよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

佐藤委員長：それでは決定させていただきます。

## 9 その他

(1) コミュニティ・スクールについて (別紙1)

(2) 海外修学旅行について (別紙2)

(3) グループ業務分担表・年間業務管理表 (別紙3)

(4) 北海道厚真高等学校の存続に向けた支援について

【質疑なし】

## 10 次回委員会の開催日程

・5月27日（金） 午後1時30分（予定）

## 11 閉会